

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

<41週> 手足口病、咽頭結膜熱など夏季の感染症が例年より増加 / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

<腸管出血性大腸菌感染症> 第41週の報告患者総数は62



病原体情報
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 Verotoxin産生性大腸菌 / 手足口病 / ヘルパンギーナ / 無菌性髄膜炎 / 他



速報
P.6-7

2000/2001シーズン用インフルエンザワクチン



海外感染症情報
P.8

エボラ出血熱流行(最新情報) ウガンダ / 南アフリカのコレラ流行 更新 / 他



感染症の話
P.9-12

Bウイルス病
ニホンザルなどのマカク属サルを自然宿主とし、サルとの直接的接触やヒトからヒトへのルートでの感染例もある



読者のコーナー
P.13



グラフ総覧(41週)
P.14-20



41週のデータ
P.21-28



発生動向総覧

第41週コメント 10月19日集計分

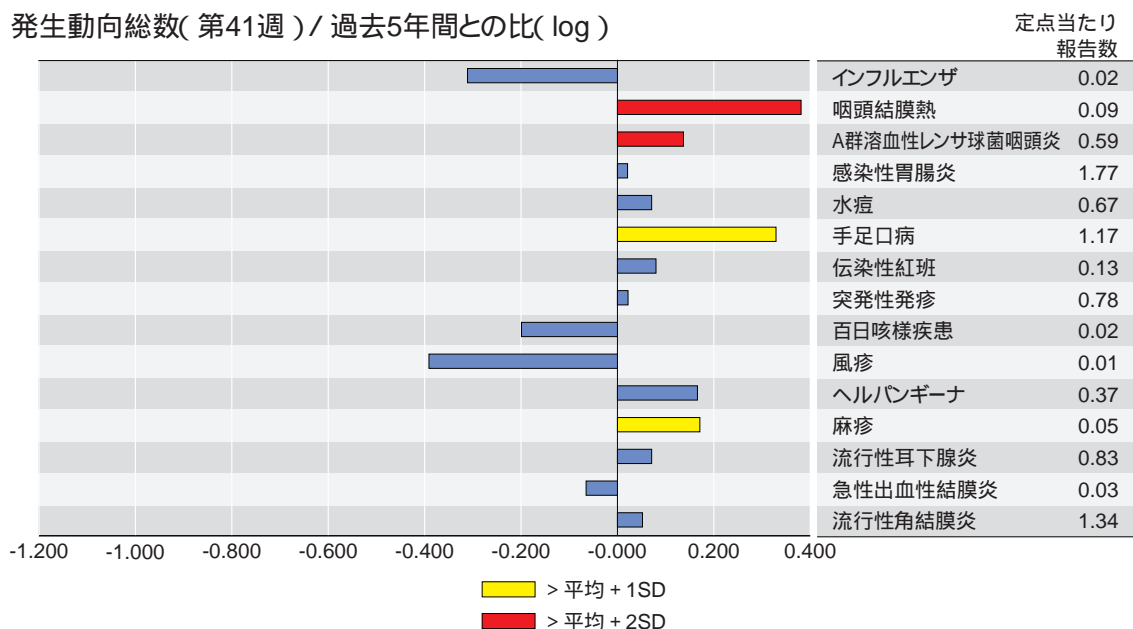
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢10例(推定感染地: インドネシア4例、中国2例、インド、インド・ネパール・中国・タイ、シンガポール・マレーシア・タイ・香港、タイ・カンボジア各1例)
中国の2例は第40週に報告のあったツアー旅行者の一部。
パラチフス1例(推定感染地: インドまたはタイ)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症62例
- 4類感染症: アメーバ赤痢2例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例(孤発性)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、デング熱1例(推定感染地: フィリピン)
急性ウイルス性肝炎8例 A型4例
B型3例__うち性行為感染2例
C型1例__感染経路不明
後天性免疫不全症候群7例(無症候性キャリア4例、AIDS3例)
感染経路__性行為感染7例うち異性間4例、同性間1例、異性間/同性間2例)
梅毒2例(早期顕性1例、晩期顕性0例、無症状0例、先天性梅毒0例、不明1例)
マラリア2例(熱帯熱マラリア1例__推定感染地: ギニア、三日熱マラリア1例__推定感染地: インドまたはネパールまたはタイ)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数が例年に比べかなり多い。また、手足口病、咽頭結膜熱など夏季の感染症の定点当たり報告数も例年より多くなっている。流行性角結膜炎は茨城県で定点当たり報告数4.8、福岡県と長崎県で4.1と多くなっている(手足口病、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、流行性角結膜炎の病原体については5ページ病原体情報参照)。麻疹の定点当たり報告数が例年の同時期と比較してやや多い。高知県では今春からの麻疹流行が地域を移動しつつ継続しており、第41週は35例の報告があった。

発生動向総数(第41週)/過去5年間との比(log)

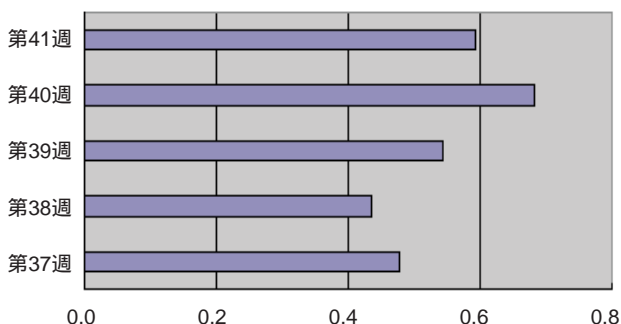


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

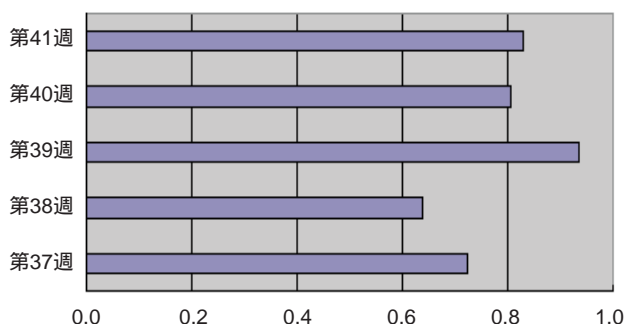
最近の注目疾患-5週間の動き

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週より定点当たり報告数が減少した。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は前週とほぼ変わらない。流行性角結膜炎の定点当たり報告数は2週続けて減少した。手足口病は3週続けて定点当たり報告数が減少した。インフルエンザの報告数は全国的にまだ少ないが、わずかに増加傾向を示している。まとまった報告のある都道府県でも、報告例からのウイルス分離や、迅速診断キットによるインフルエンザ感染の確認の情報は得られていない。

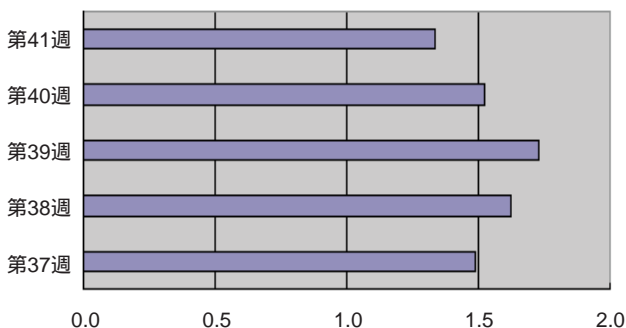
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



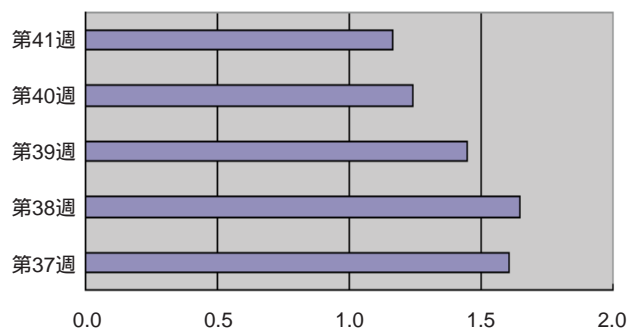
流行性耳下腺炎



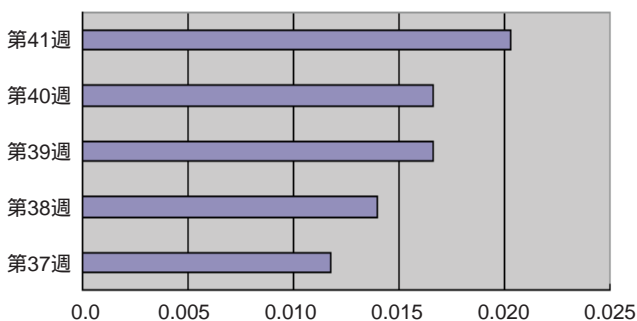
流行性角結膜炎



手足口病



インフルエンザ



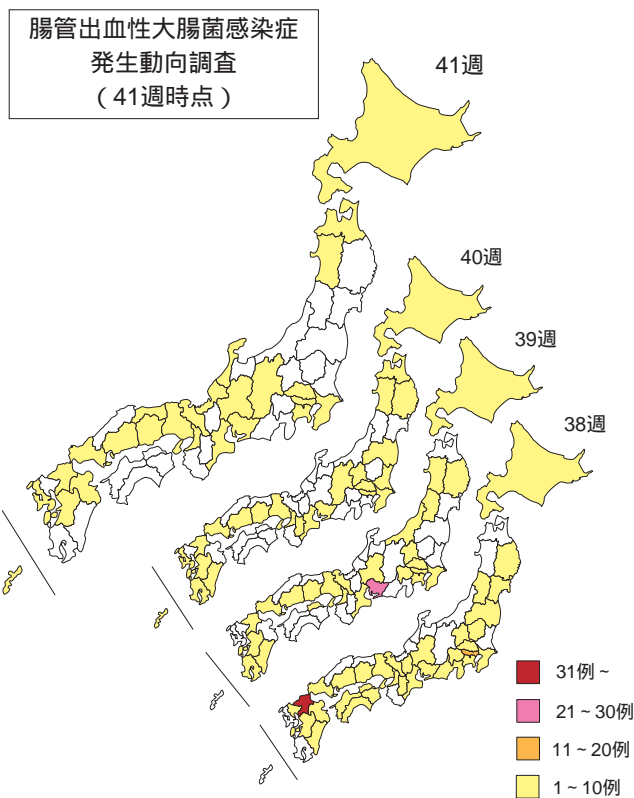
(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



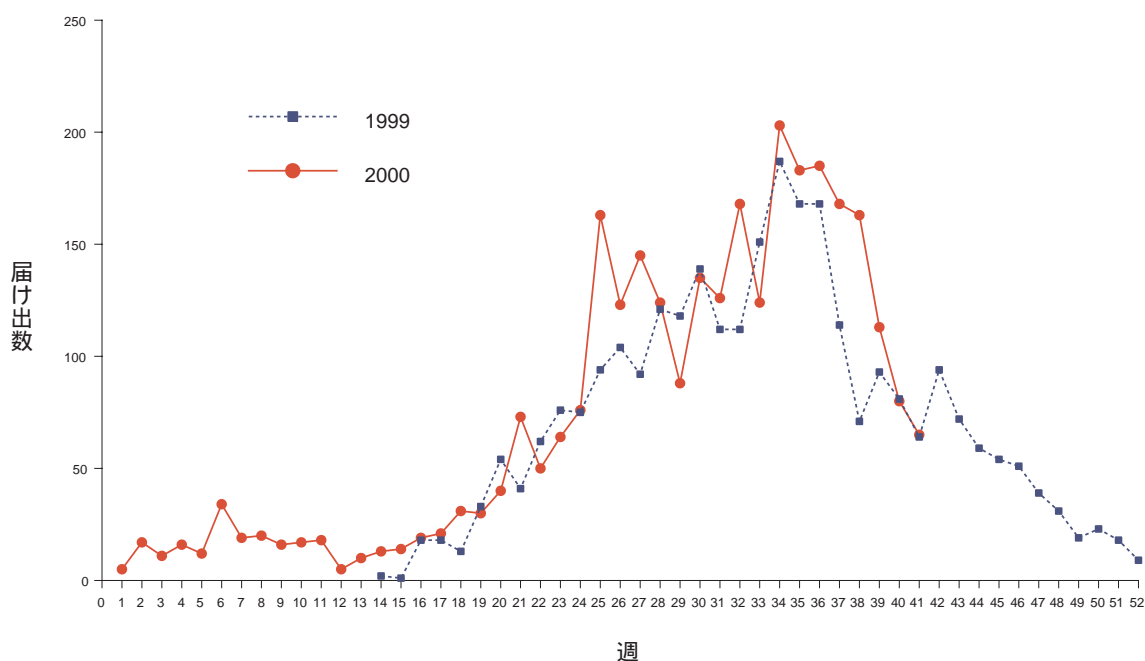
注目すべき感染症

腸管出血性大腸菌感染症流行状況

2000年第41週(10月9日～10月15日)の、腸管出血性大腸菌感染症報告総数(無症状病原体保有者含む)は62であった。同一家族内の感染が5事例確認されている(Vero毒素産生性大腸菌O157、O26の検出状況については、5ページ病原体情報参照)。2000年第1週からの累積患者報告数は2,980となり、大阪府、東京都、神奈川県、愛知県、福岡県、兵庫県など大都市を含む都府県で累積報告数が多い。



腸管出血性大腸菌感染症(無症状保菌者含む)届出状況 2000年第41週





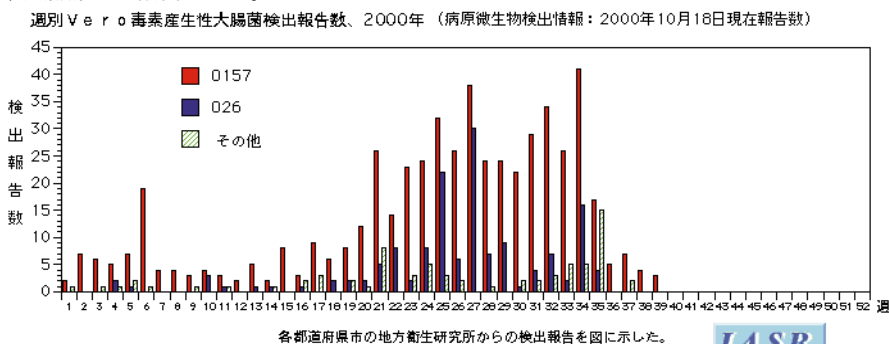
病原体情報

(2000年10月20日現在報告分)

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.gov/iasr/index-j.html>)からの引用です。

ヒトから分離されたVero毒素産生性大腸菌O157およびO26

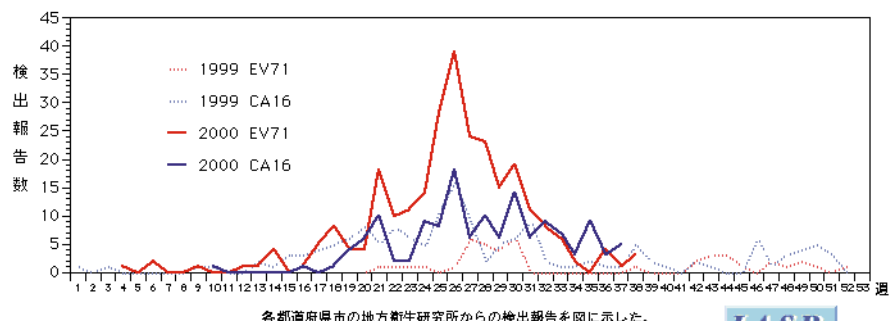
本年のVero毒素産生性大腸菌の検出総数は、O157が585件、O26が185件である。第37週以降、O157は福岡市15、大阪府8、岐阜県6、山梨県、愛媛県各3、尼崎市2、横須賀市、徳島県、長崎市各1の報告であり、O26は福岡市32、大阪府3の報告である。



手足口病患者から分離されたウイルス

エンテロウイルス71型(EV71)の分離は208件報告され、熊本県(35)、愛媛県(33)、神奈川県(25)、愛知県(14)からの報告が多く、第37週以降では岩手県から4件の報告である。コクサッキーウイルスA16型(CA16)は137件、CA10は27件の報告である。

週別エンテロウイルス71型、コクサッキーA16型分離報告数、年別比較(1999年、2000年)
(病原微生物検出情報: 2000年10月18日現在報告数)



ヘルパンギーナ患者から分離されたウイルス

A群コクサッキーウイルス(CA)168件(10型62、4型44、6型37、2型14、9型4、5型2、8型2、3型1、7型1、16型1)の分離が報告されている。

無菌性髄膜炎患者から分離されたウイルス

エコーウイルス(E)165件(25型45、9型40、3型21、11型20、30型14、6型13、18型6、21型3、17型2、4型1)、B群コクサッキーウイルス(CB)83件(3型25、5型22、4型17、1型14、2型3、6型2)、エンテロウイルス71型(EV71)41件、ムンプスウイルス30件、CA15件(9型6、10型6、2型1、4型1、16型1)の分離が報告されている。

咽頭結膜熱患者から分離されたウイルス

アデノウイルス(Ad)108件(3型55、2型25、1型18、5型3、4型2、6型2、7型2、19型1)の分離が報告されている。

流行性角結膜炎から分離されたウイルス

アデノウイルス43件(3型9、4型8、8型7、37型7、11型4、19型3、2型2、1型1、6型1、7型1)の分離が報告されている。



2000/2001シーズン用インフルエンザワクチン

平成12年度インフルエンザHAワクチン製造株およびウイルス含有量については、

A/H1N1型 A/ニューカレドニア/20/99(H1N1 (Ⅹ IVR-116))

A/H3N2型 A/パナマ/2007/99(H3N2 (Ⅹ NIB-41))

B型 B/山梨/166/98

HA抗原含有量: ワクチン0.5m/中に各株のHA蛋白を15 μgずつ含有すると決定された(厚生省医薬安全局長通知、平成12年7月10日)。

この決定は、平成12年2月から3月にかけて3回にわたって開催された国立感染症研究所インフルエンザワクチン株選定会議(委員長: 田代真人ウイルス製剤部部長)において、所内担当スタッフ、外部有識者のほか、厚生省結核感染症課および血液対策課、細菌製剤協会がオブザーバーとして参加し、国内外のインフルエンザの流行状況と流行予測、WHOによるワクチン推奨株の選定経過、ワクチン候補株についての予備実験成績などをふまえて議論された結果を、国立感染症研究所所長から厚生省に報告し、それに基づいて決定通知されたものである。

ワクチン株選定理由の概要は以下のようである。

A/H1N1型: 我が国ではA/H1N1型ウイルスは1995-96年シーズン以来流行の主流となつてはいなかったが、1999/2000年シーズンにはA/H3N2型と共に流行の主流を形成した。世界的に大きなA/H1N1の流行は見られていないが、国内外とも1999/2000年シーズンのワクチン株であったA/北京/262/95とは抗原性の異なるA/ニューカレドニア/20/99様ウイルスの割合が増えてきている。これらなどからワクチン株としての発育鶏卵での増殖性を考慮して、A/ニューカレドニア/20/99(H1N1) (IVR-116)が選定された。

A/H3N2型: 1999/2000年シーズンを含めてこれまで3シーズン連続してA/シドニー/5/97に代表されるウイルスが、国内外においてA/H3N2ウイルスの主流を形成してきた。A/シドニーはワクチン株としてもこの2シーズン用いられており、広い年齢層がA/シドニーに対する抗体を保有していることが感染症流行予測事業から明らかになっている。

一方このA/シドニー/5/97とは抗原性が4倍程度異なるA/モスクワ/10/99を代表とする変異株が世界各地で出現している。A/シドニー/5/97を使用したワクチンではこれらの変異株に対する抗体応答は低いが、A/モスクワ/10/99ではA/シドニー/5/97に対しても同程度の交差免疫があることが明らかとなっている。これらなどから、ワクチン株としての発育鶏卵での増殖性を考慮して、A/モスクワ/10/99類似株であるA/パナマ/2007/99(H3N2 (Ⅹ NIB-41))が選定された。

B型: ここ数年日本を含めて東アジア地域では、B/山形/16/88およびB/ビクトリア/2/87に代表される2系統のB型ウイルスが同時に流行していたが、1999/2000年シーズンには我が国ではB型の流行はほとんど見られなかった。分離された数株のB型ウイルスはB/山形/16/88系統であるB/山梨/166/98に類似しており、海外においてもB/山梨/166/98類似ウイルスが大部分であった。B/山梨/166/98を用いたワクチン接種者は、B/山梨/166/98およびB/ビクトリア系統であるB/山東/7/97に対しても比較的高い反応が見られた。これらから、ワクチン株として発育鶏卵での増殖性も考慮してB/山梨/166/98が選定された。

なお本年よりワクチンの抗原含有量は、従来CCA表示より、HA蛋白含量で表すよう改められた。

インフルエンザワクチンの接種は、0.5m/を皮下に、1回またはおよそ1-4週間の間隔を置いて2

回注射する。但し6-13歳未満では0.3m^l、1-6歳未満では0.2m^l、1歳未満については0.1m^lずつ2回投与する、と改められた(厚生省告示第296号)。これは、年長者、成人などは、すでに何回かのインフルエンザ感染を経験しているであろうところから基礎的な免疫が多少なりともあるので、ブースター効果が期待され1回接種でも免疫獲得が可能であると考えられた結果である。高齢者などについては、以下のように我が国でも1回接種による免疫の獲得が実証されているが、小児をはじめブースター効果に疑問があるような場合には2回接種が必要となる。インフルエンザウイルスの変異が大きくみられたような場合にも2回接種が必要となるので、判断の材料の一つとしてインフルエンザサーベイランス情報が重要となる。

厚生科学研究費補助金(新興・再興感染症研究事業)インフルエンザワクチンの効果に関する研究(主任研究者:国立三重病院長 神谷 齊、研究期間:平成9～11年度)において、高齢者(65歳以上)に対するインフルエンザワクチン1回接種法による有効性の評価が行われた。研究の対象は、新潟県、名古屋市、大阪府、福岡県、三重県の高齢者施設に入所する高齢者1,146名で、それぞれに1回のインフルエンザワクチン接種を行った。その結果、接種を行った後の抗体価の上昇は良好であった。また、これらの高齢者に接種した際の重篤な全身反応はなく、局所反応も軽微であった。1回接種での発病阻止効果は45%前後、重症化は十分に阻止する事が可能で、死亡に対する予防効果は82%であった。

国立感染症研究所感染症情報センター 岡部信彦



海外感染症情報

エボラ出血熱流行(最新情報) ウガンダ

WHO/CSR 2000年10月18、19日、20日、22日

10月22日までに、ウガンダ保健省は54人の死亡者を含む149人の患者を報告した。患者はGulu地区にあるGulu自治区とAswa郡に集中している。

10月16日に、WHOの協力研究センターである南アフリカの国立ウイルス研究所(NIV)がGulu地区での流行がエボラ出血熱であると初めて確認した。NIVIは、今回のエボラウイルスがスーダンでのエボラウイルス株と類似しているが、同一ではないとした。1976年と1979年に南スーダンで流行した出血熱は、致死率が50%～70%であった。このウイルス株は、旧ザイール、現在のコンゴ民主共和国とガボンで流行したザイール株(致死率70%～90%)より病毒性がやや低い。

Gulu地区での感染抑制と患者の治療は現在も継続されている。積極的な患者の発見と接触者の追跡をするために、流行警戒システムが確立された。保健教育が広く普及し、地域住民の中ではエボラ出血熱に対する認識も高まっている。実地の疫学者のチームと訓練された医療スタッフは、Guluのオペレーションセンターに報告された全ての疑い患者を調査しており、この病気の定義に一致した人間を2つの病院の隔離病棟に移送している。これらのチームは、患者への接触者の追跡も行っている。

現在、隔離病棟では適切な対策がとられており、ウイルス感染の危険はない。また、多くの患者や接触者が確認されており、適切な処置を受けている。

南アフリカのコレラ流行 更新

WHO/CSR 2000年10月20日

2000年10月19日現在、Kwazulu-Natal保健当局は、2000年8月中旬から始まった流行で、3,275人の患者と27人の死亡者を報告した。

Kwazulu-Natalでの流行は次の地域で発生している: NgwelezaneとEmpangeniを含むLower Umfolozi地方、Eshowe/Nkandla地域、Stanger地域とPort Shepstone地域である。

共同危機対策委員会(Joint Operational Crisis Committees)が流行地に設置され、保健省は南アフリカのWHO事務局とHarareにあるWHOアフリカ地域事務局と協力して、流行の抑制と予防対策を実施している。

サウジアラビアでのリフトバレー熱流行 - 更新

Sauji Arabian Ministry of Health 2000年10月19日

サウジアラビア保健当局によると10月19日までにリフトバレー熱患者409人が発生した。そのうち80名が死亡し、188人が回復した。



感染症の話

Bウイルス病

1933年にポリオ研究者がアカゲザルに咬まれ、脳脊髄炎を発症して死亡した。神経組織よりウイルスが分離され、患者の名前にちなみ、Bウイルスと命名された。正式名称はCercopithecine herpesvirus(CHV-1)であるが、Bウイルス、ヘルペスB、Herpes simiae、Herpesvirus simiaeとも呼ばれる。なお、Cercopithecusとはオナガザルのことである。Bウイルスはニホンザルなどのマカク属サルを自然宿主とし、この宿主では単純疱疹類似の疾患を引き起こし、致命的感染は例外的である。しかし、ヒトに感染すると、致命的な疾患(Bウイルス病)を引き起こす。ニホンザル等との接触の機会を有している場合、注意すべき感染症である。

疫学

本邦での発症例はこれまでのところ報告されていないが、世界的には40例を越しており、おもに米国における発症例である。実際には見落とされている例が多いと考えられる。罹患者の大部分は研究者あるいはサル飼育施設の従業者で、日常の外来診療で遭遇するような疾患ではない。

マカク属サルとの直接的接触により感染する。感染ルートはサルによる咬傷・擦過症が大部分であるが、本症の患者から看護者に感染したという、ヒトからヒトへの感染例も報告されている。

アジアにいるアカゲザル、カニクイザル、日本ザル(*Macaca fuscata*)、台湾ザル(*Macaca cyclopis*)などのマカク属の旧世界サルでは、半数以上が抗体陽性であり、ウイルスは体内に潜伏感染している。ヒトの単純ヘルペスウイルスのように神経節に潜伏し、再活性化することにより感染源となる。サル間では性行為を含めた水平感染により伝播し、幼ザルは抗体陰性であることが多い。



カニクイザル(cynomolgus monkey)

病原体

CHV-1はヒトの単純ヘルペスウイルスと同じアルファヘルペスウイルスに分類され、直径160-180nmの粒子でエンベロープを有する。ウイルス分離にはVero細胞やHeLa細胞が用いられる。25cm²のフラスコ程度を使用した少量のウイルス分離はP3レベルの実験室で行うが、大量培養はP4レベルのバイオハザード封じ込め施設で行う。ウイルス増殖は非常に早く、HSVに類似した細胞変性効果(核内封入体と多核巨細胞)が生じる。ウイルスは4℃では安定であるが、40℃を越す条件では失活しやすく、また有機溶剤で容易に感染性を喪失する。

臨床症状

唾液等に感染性ウイルスが排出されているサルによる咬傷が主たる感染ルートである。ウイルスが潜伏状態にあるサルの咬傷では感染しない。咬傷後、局所でウイルスが増殖し、末梢神経

を経て、中枢神経組織に到達し、脊髄、延髄、橋と徐々に感染し、横断性脊髄炎、上行性脊髄炎、脳脊髄炎を来す。

これらの病態発生に相応して臨床症状が経時的に現れる(表)。潜伏期間は咬傷後早い場合は2日で、2週から5週以内に臨床症状が出現する。

診断上最も重要なことは、実験用あるいは動物園あるいはペットのサルとの接触に関する病歴の入手である。感染経路は咬傷あるいは擦過傷であることが多く、サルに使用した注射針の針刺し、培養に使用したガラス器具による外傷によっても感染する。

詳細に臨床症状が報告されている第1例(米国例)の臨床症状を以下に提示する。

医師(B)が実験中に外見上健康なサルにより手の咬傷を受けた。3日後咬傷部の紅斑、リンパ管炎、所属リンパ節腫大が生じた。6日目に発熱、10日目に神経症状(上行性麻痺)が出現し、脳脊髄液の単核細胞上昇(112/mm³)、蛋白増加が認められた。外傷部皮膚には水疱も生じた。17日目に痙攣・昏睡状態となり、呼吸不全(呼吸筋麻痺)にて死亡した。剖検時、神経系組織には急性横断性脊髄炎と、前頭葉、橋、延髄にも炎症性変化が認められた。

表 Bウイルス病の臨床症状 (Holmes GP et al. 1995に準拠)

早期症状	<ol style="list-style-type: none"> 1. 外傷部位周囲の水疱あるいは潰瘍 2. 接触部の激痛あるいは掻痒感 3. 所属リンパ節腫大
中期症状	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発熱 2. 接触部の感覚異常 3. 接触部側の筋力低下あるいは麻痺 4. 結膜炎 5. しゃっくり(吃逆)の持続
晚期症状	<ol style="list-style-type: none"> 1. 副鼻腔炎 2. 項部硬直 3. 24時間以上の頭痛 4. 悪心・嘔吐 5. 脳幹部症状：複視、構語障害、眩暈、失調症、交差性麻痺、交差性知覚障害、脳神経麻痺 6. 意識障害 7. 脳炎ならびに中枢神経症状

病原診断

1. ウイルス分離：ウイルス分離が最も信頼できる検査法である。少量サイズの培養細胞を用いたウイルス分離をP3実験室において行う(国立感染症研究所の規定)。ウイルス分離を行うための検体は咽頭拭い液、脳脊髄液、サルによる咬傷あるいは擦過部位の拭い液あるいは生検組織である。

2. ウイルスゲノムのPCRによる検出：PCRを用いたウイルスゲノム検出法が報告されている。この場合、近縁のHSVとの区別が問題となる。制限酵素切断様式の違いあるいは塩基配列の解析が必要となる。また、咬傷を加えたサルの検索も行う。

3. 血清抗体の検出: CHV-1はHSVと抗原性が共通する。CHV-1抗体陽性サルの血清は単純ヘルペスウイルスに対する高い中和活性を有している。一方、HSVに対する抗体を有したヒト血清はCHV-1に対しての中和活性がある。この抗原交差性のため、両者の血清学的鑑別は困難である。この区別が可能なドットプロット法が開発され、CHV-1抗体陽性のニホンザルが確認された。簡便法として、スライド上にCHV-1感染細胞を固定・不活化し、抗原抗体反応を行い、抗体を検出する蛍光抗体法がある。この方法ではHSVとCHV-1それぞれに対する抗体の区別は困難で、HSV抗体陽性患者のCHV-1抗体の検出はできない。

4. 剖検時の病理所見として、中枢神経組織の出血、壊死、浮腫、血管周囲の単核細胞浸潤がみられる。Cowdry A型封入体は見だしにくい。感染部位の皮膚・粘膜の生検組織には多核巨細胞が出現し、ウイルスゲノムも検出できる。

治療・予防

症例数が少なく、確立していないが、アシクロビルあるいはガンシクロビルが有効であり、予防・治療にこれらの投与が推奨されている。治療量は体重1kgあたり10-15mgのアシクロビルを8時間ごとに最低14日間静注、さらに、神経症状がみられた場合にはガンシクロビルを体重1kgあたり5mgを12時間ごとに14日間以上投与する。静注終了後、経口投与も考慮する。

患者の外傷部あるいは結膜、唾液からウイルスが分離されることより、治療においては、手袋ならびにマスク、眼鏡等の粘膜部保護が必要である。ヒト-ヒト間の感染例は現在まで1例報告されている。

サルにより咬傷を受けた場合、傷口をできるだけ早く15分以上流水あるいは石鹼水により洗浄する。次亜塩素酸による洗浄を薦める報告もある。結膜の場合は流水あるいは滅菌水を用いる。アシクロビル(成人量800mg)の経口投与も考慮し、その場合、外傷部からのウイルス分離、ウイルスゲノム検出、外傷を加えたサルの抗体検査、サルの唾液、結膜擦過、外陰部擦過にウイルスゲノムが存在するかどうかの解析結果がでるまで続ける。陽性である場合、予防投与は14日間行う。なお、外傷部位の検体採取、患者の血清採取、咬傷を加えたサルのウイルス学的解析ならびに血清の採取は必ず外傷部あるいは曝露粘膜の洗浄後に行う。患者ならびに患者の家族には表に示したBウイルス病の臨床症状を説明し、その兆候が現れた場合の連絡の必要性を指示する。

研究者ならびにサル飼育施設従業者での取り扱い事故の予防について、米国エモリー大学とCDCではワーキンググループを形成し、ガイドラインを発表している(Holmes GP et al. Guidelines for the prevention and treatment of B-virus infections in exposed persons. *Clinical Infectious Diseases* 1995; 20: 421-39)。

ワクチンはない。

感染症法の中でのBウイルス病の取り扱い

Bウイルス病は4類感染症の全数届け出疾患に定められており、本症であることを診断した医師は、診断から7日以内に最寄りの保健所に届け出る必要がある。報告のための基準は以下の通りとなっている(平成11年3月30日、厚生省結核感染症課長通知)。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断や血清学的診断がなされたもの

- ・病原体の検出
例: 臨床検体(咽頭ぬぐい液、脳脊髄液、咬傷部、擦過部位の生検組織など)からのウイルス分離と中和試験による確認など
- ・病原体遺伝子の検出
例: PCR法など
- ・病原体に対する抗体の検出
例: ドットプロット法、ELISA法など
(ヒトではHSV-1とBウイルスの抗原性は交差するので、従来の抗原抗体反応系(免疫蛍光等)は使用できない)

《 備 考 》

外傷部、結膜、唾液からウイルスが分離されることから、これらの部位の治療の際には必ず手袋をする。またマスク、眼鏡等により粘膜を保護する。

(国立感染症研究所感染病理部 岩崎琢也)



読者のコーナー

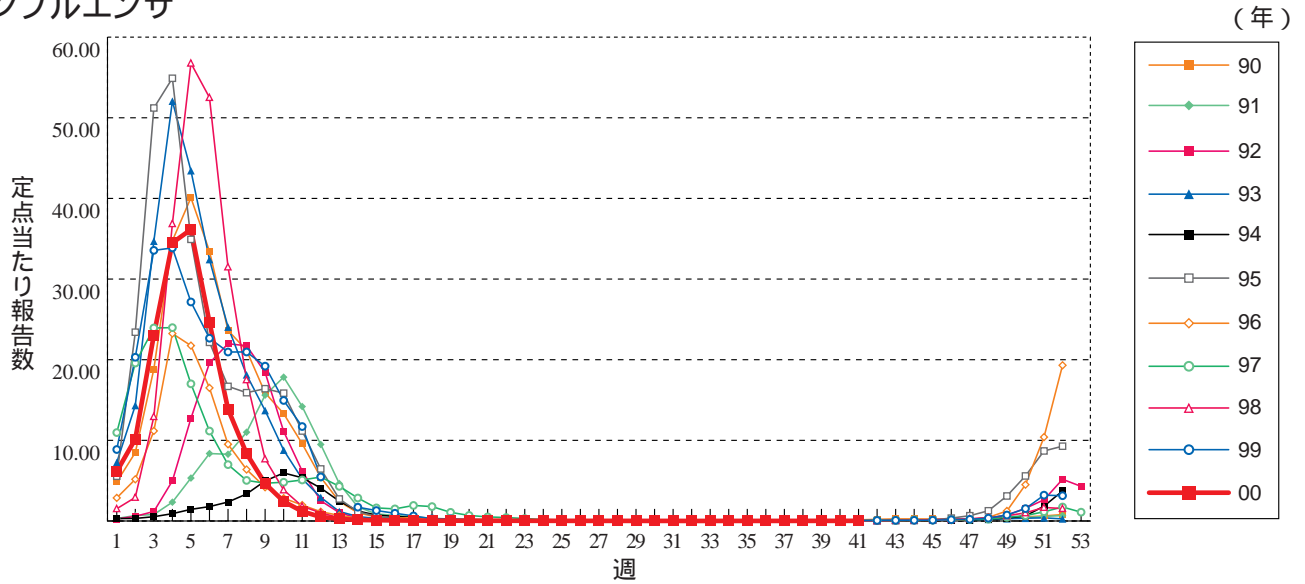
「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

idsc-query@nih.go.jp

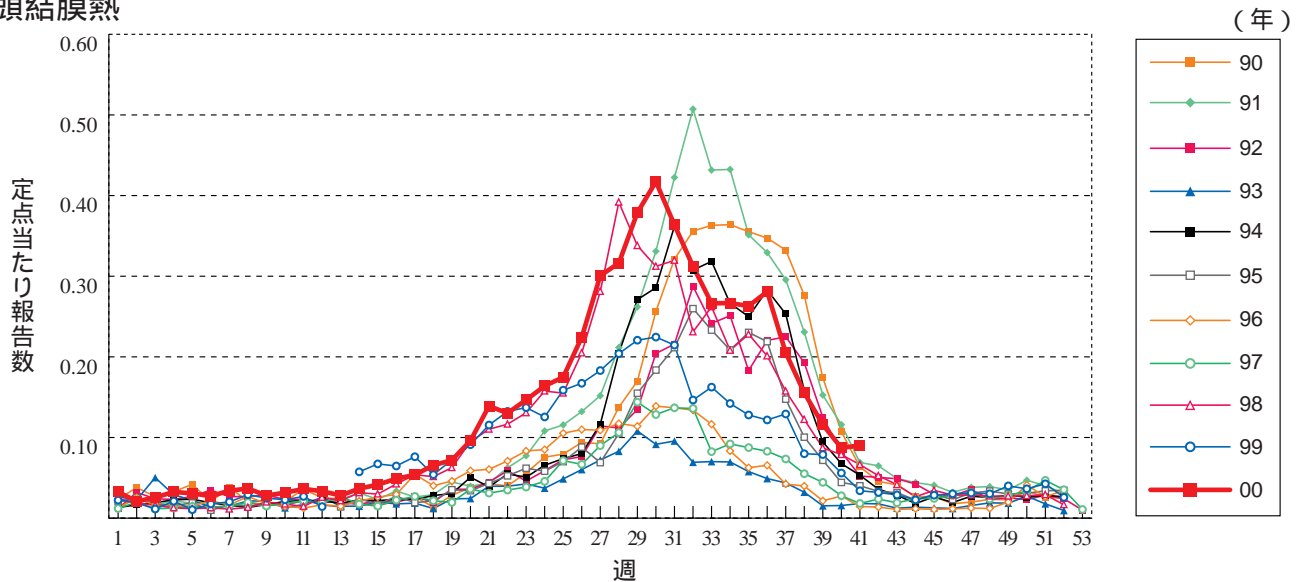


グラフ総覧(41週)

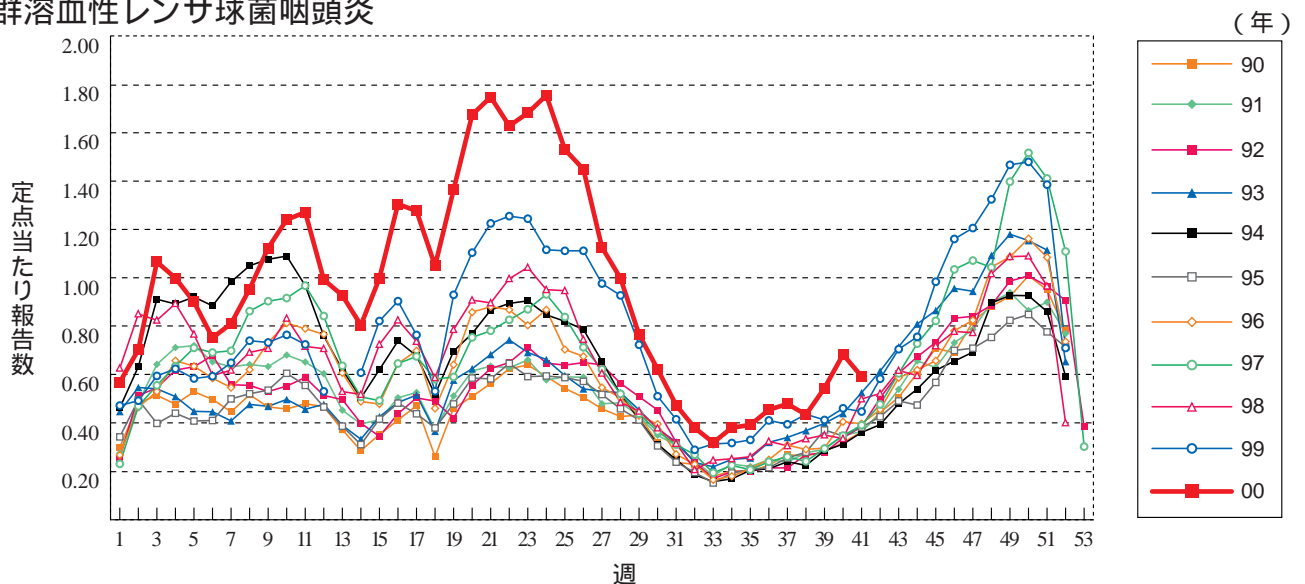
インフルエンザ



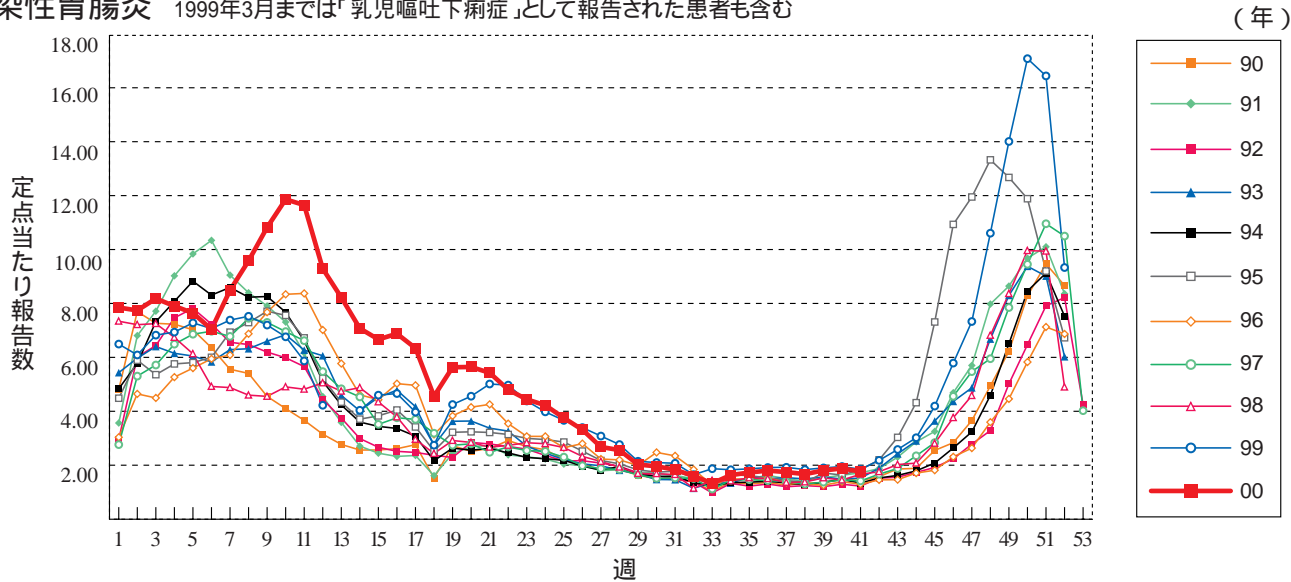
咽頭結膜熱



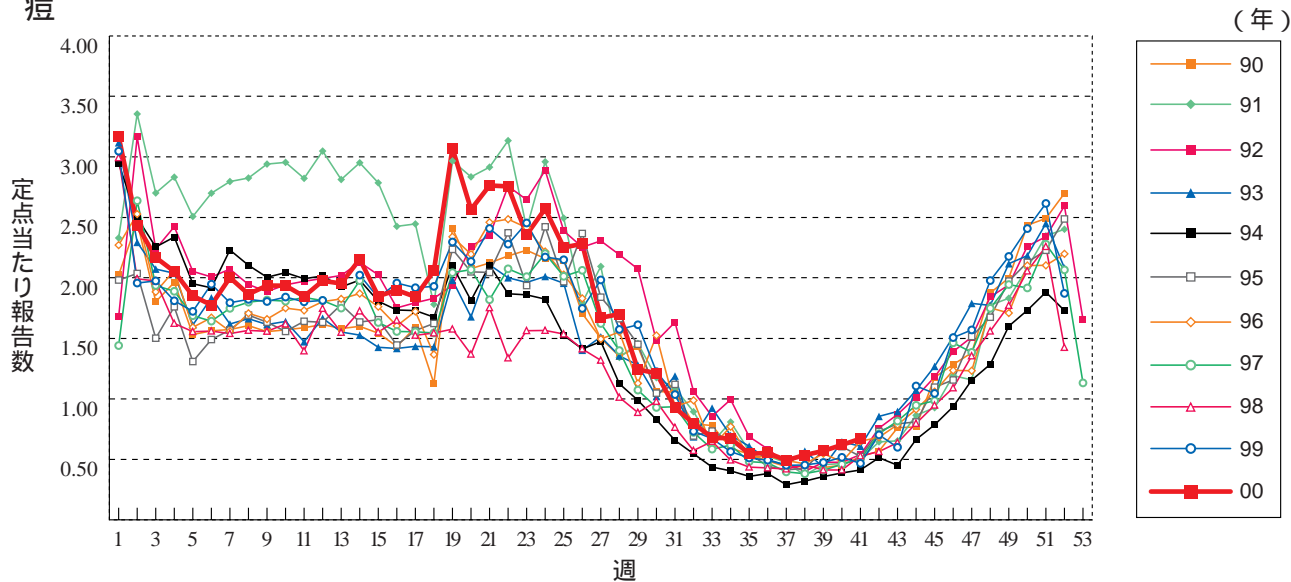
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



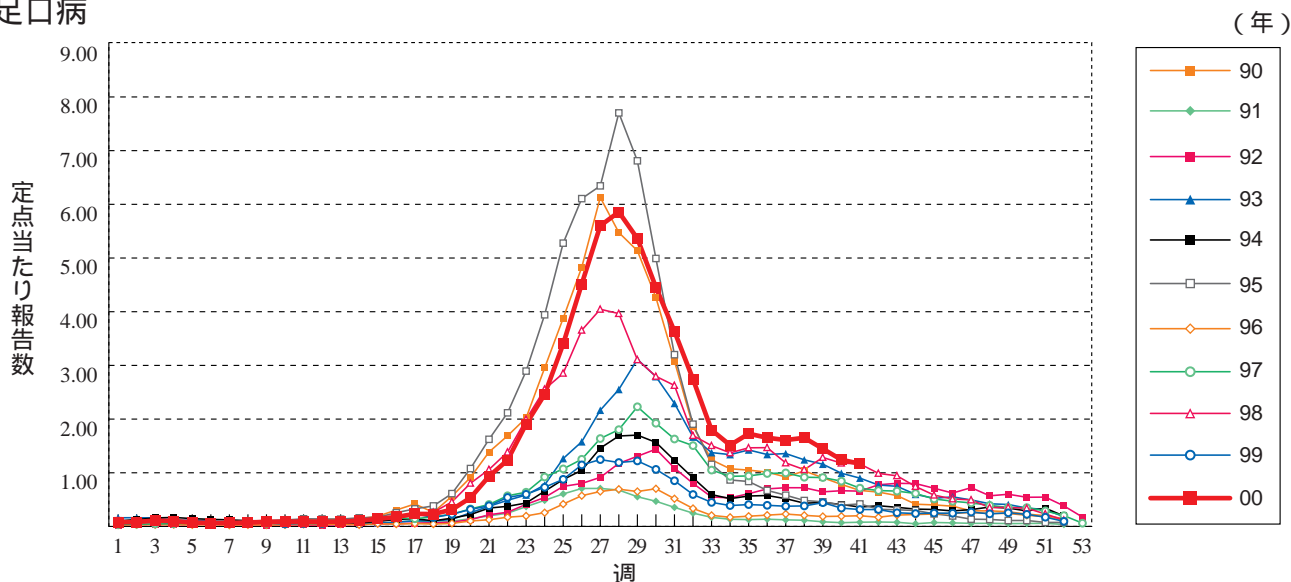
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



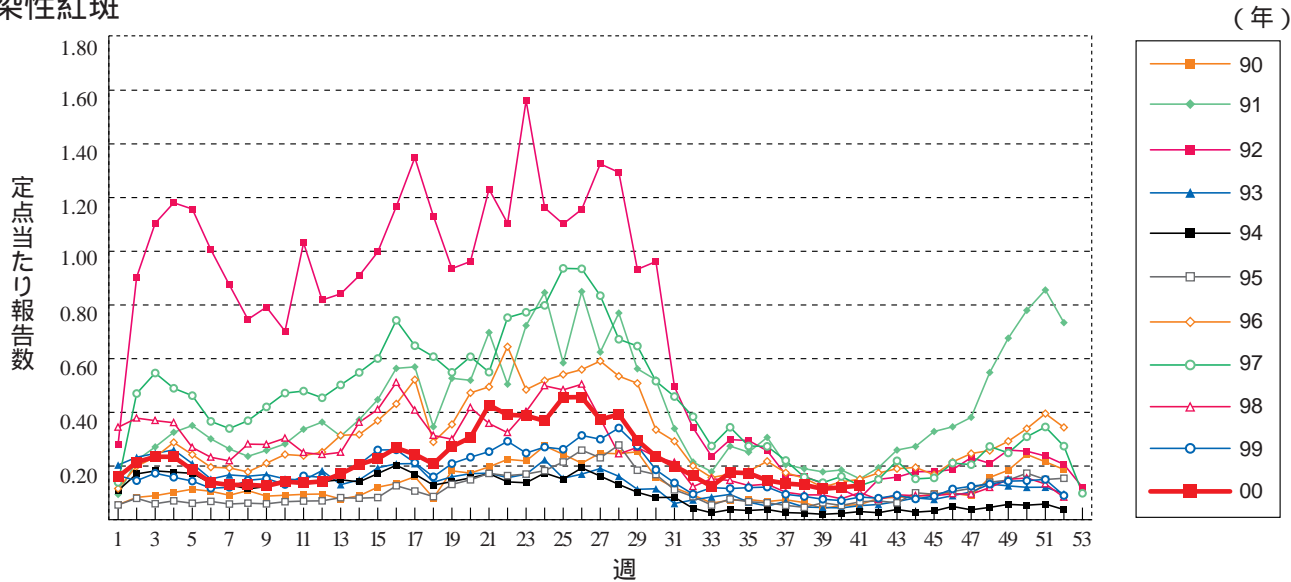
水痘



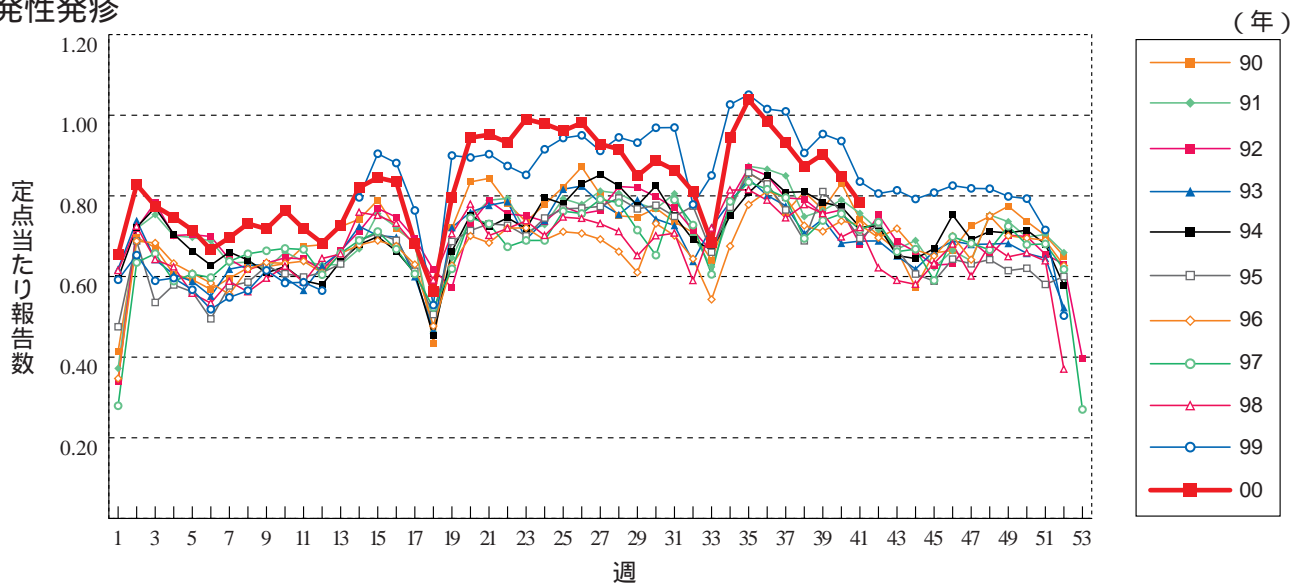
手足口病



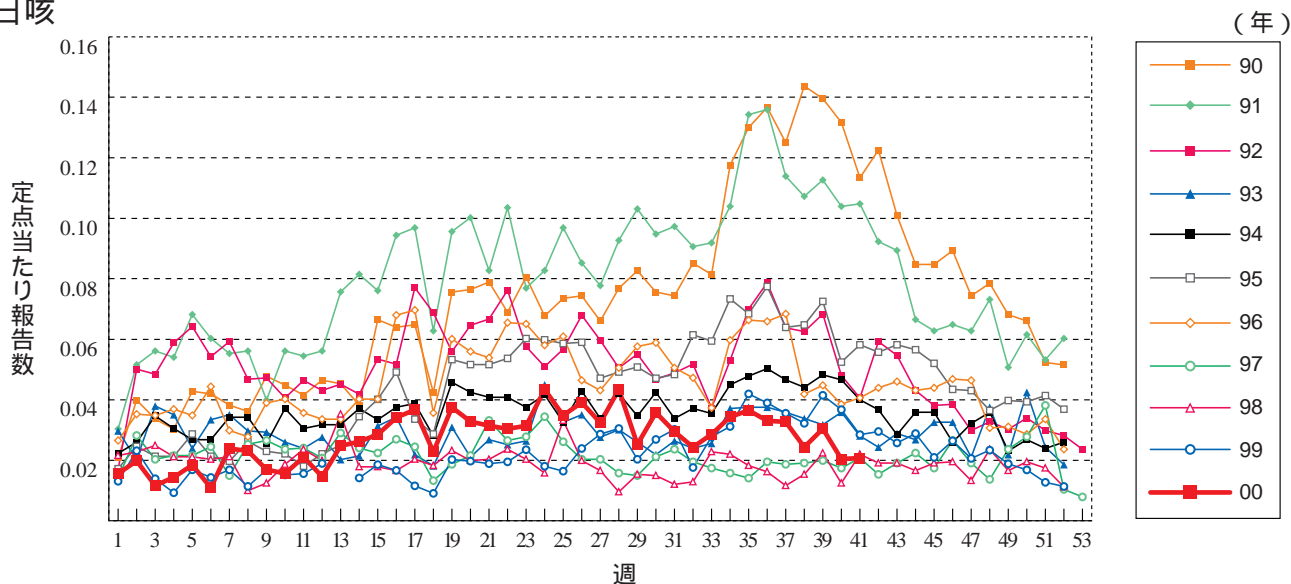
伝染性紅斑



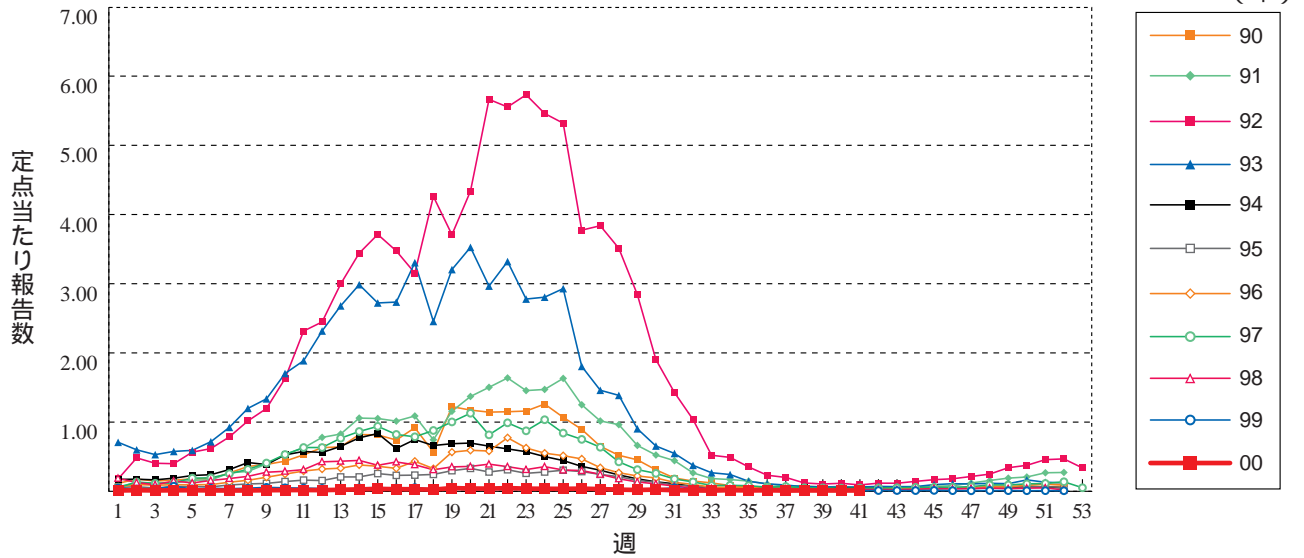
突発性発疹



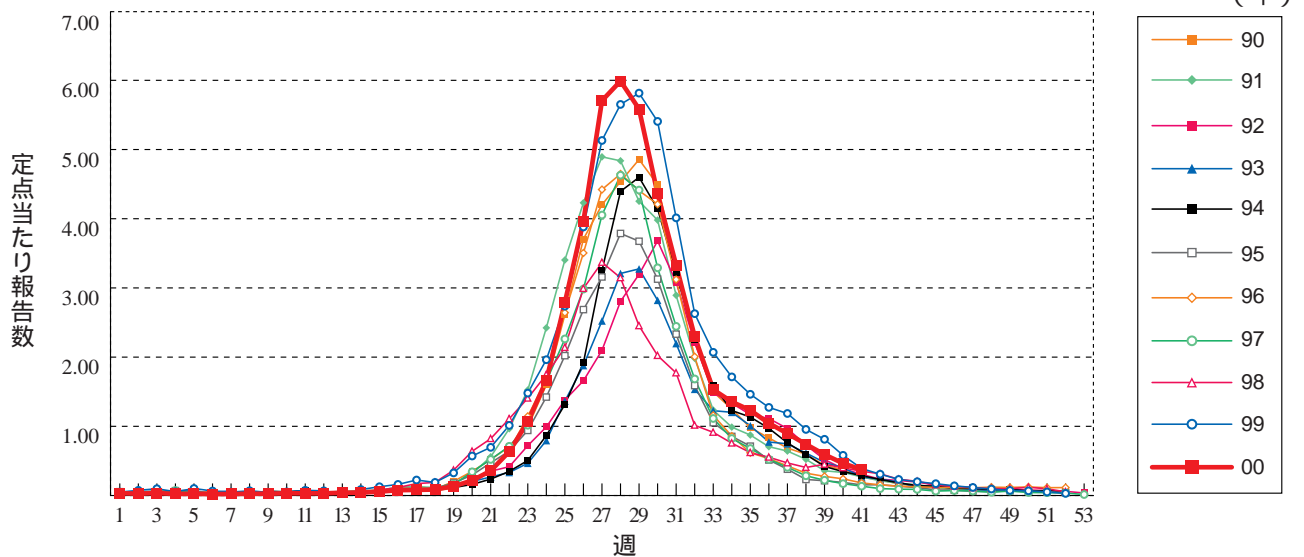
百日咳



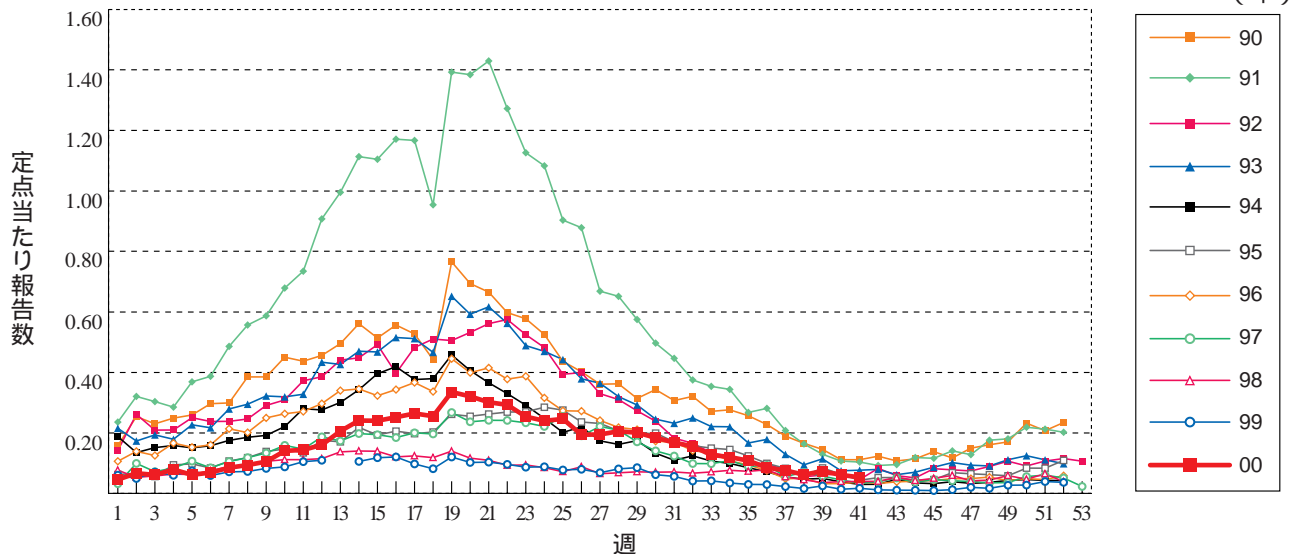
風 疹



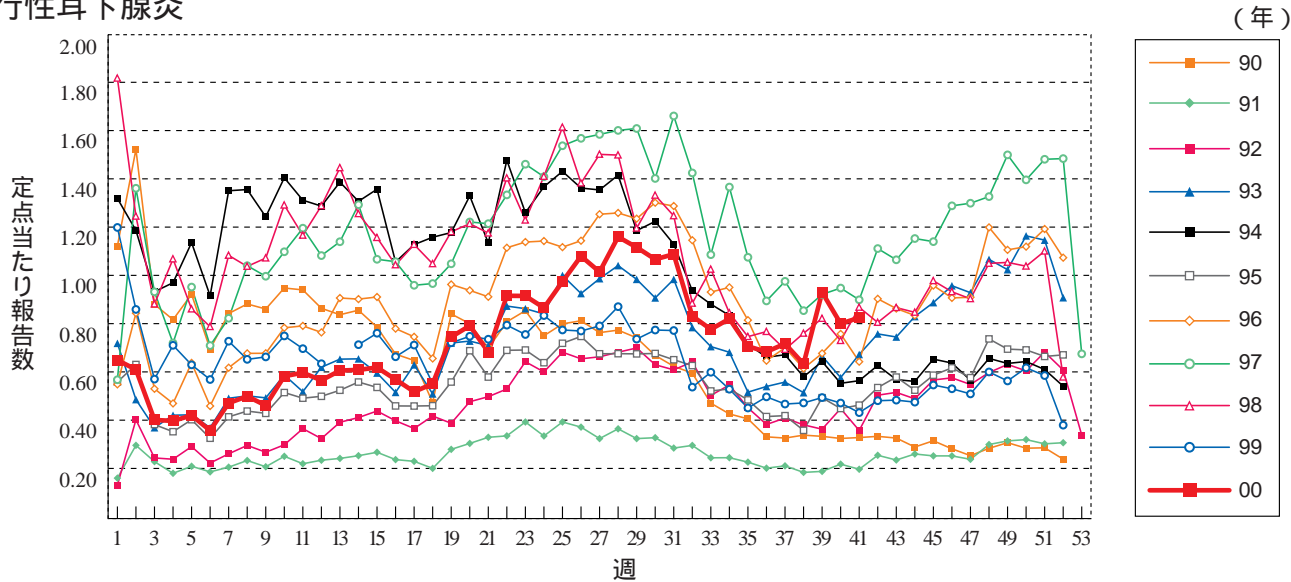
ヘルパンギーナ



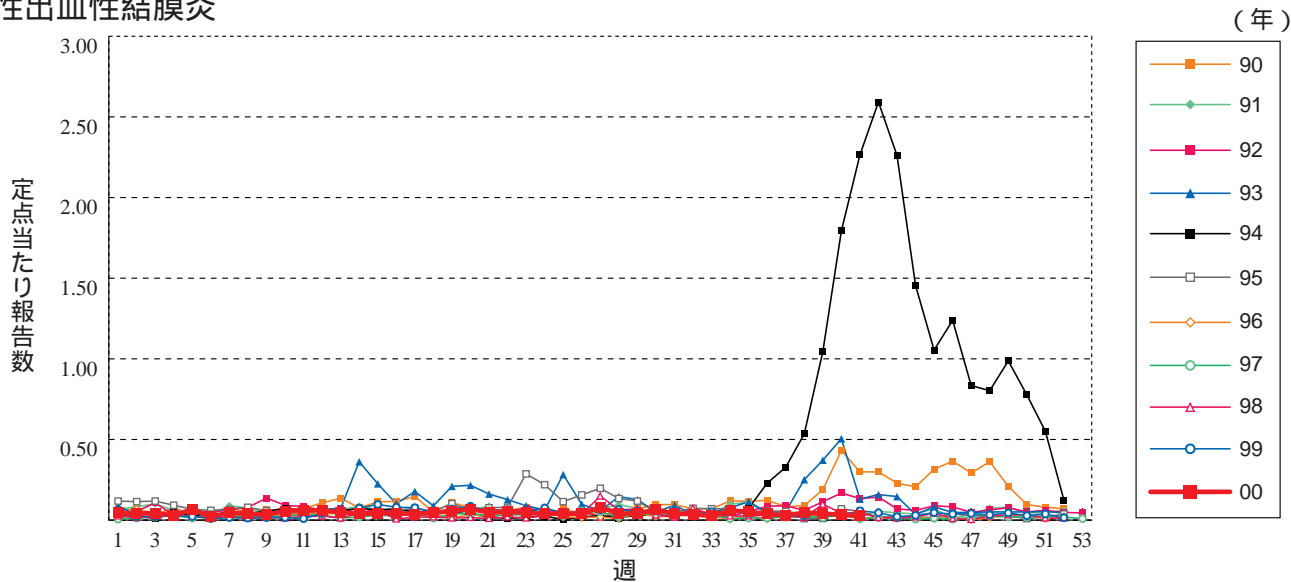
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



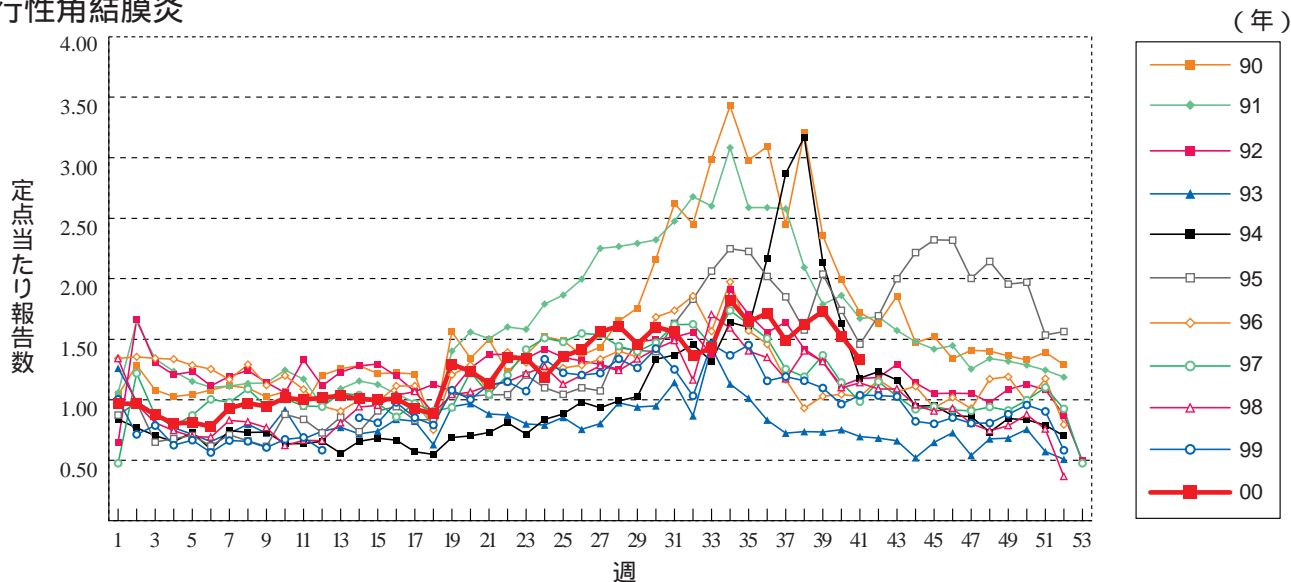
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

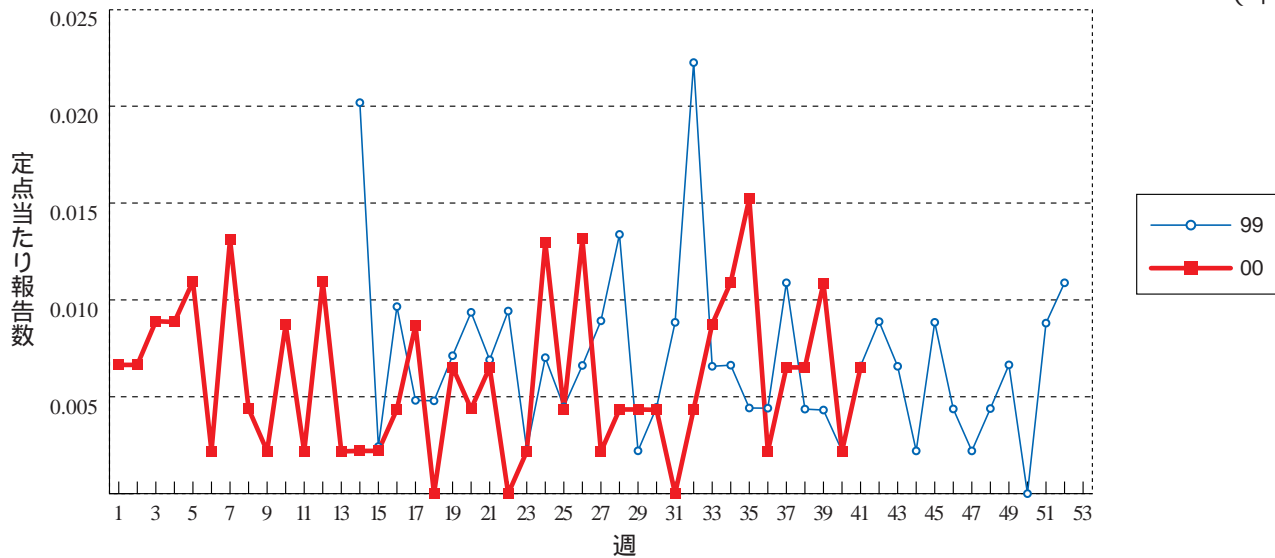


流行性角結膜炎



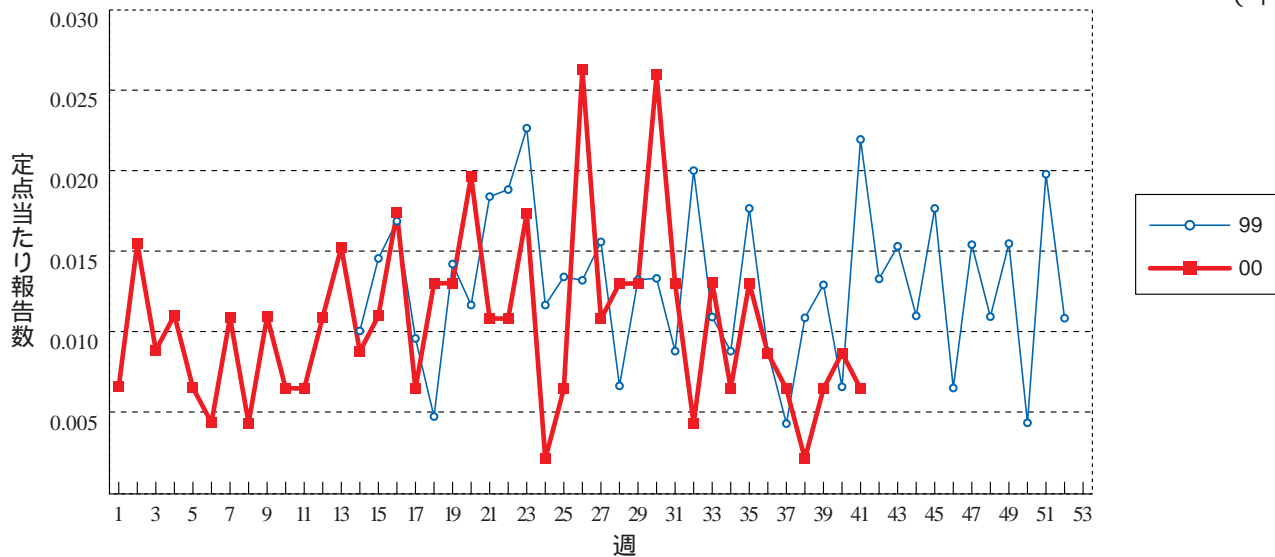
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



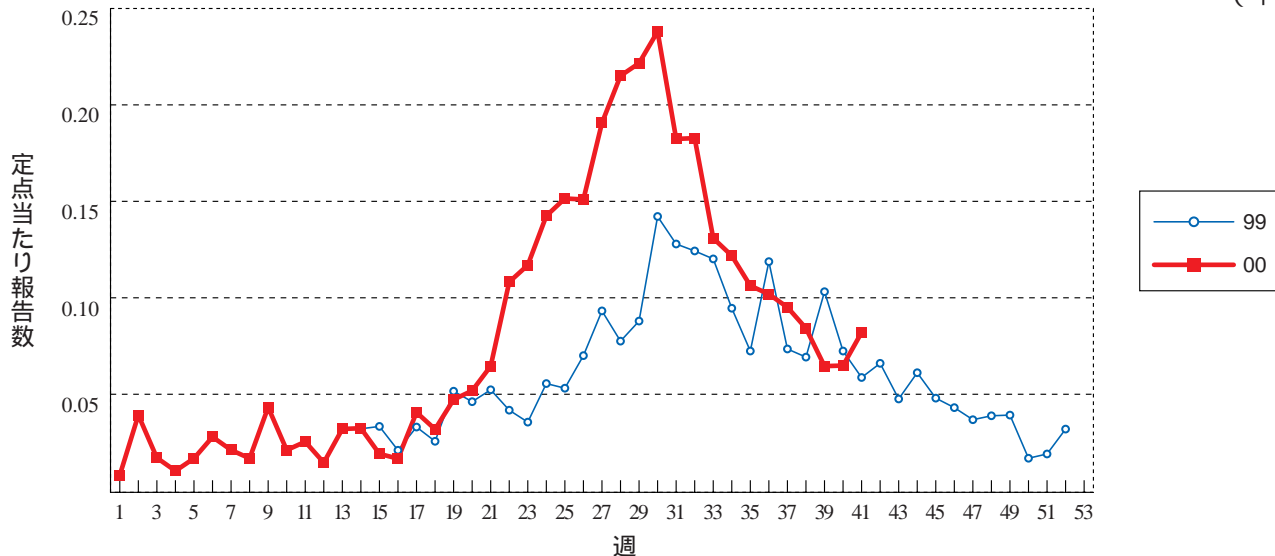
細菌性髄膜炎

(年)



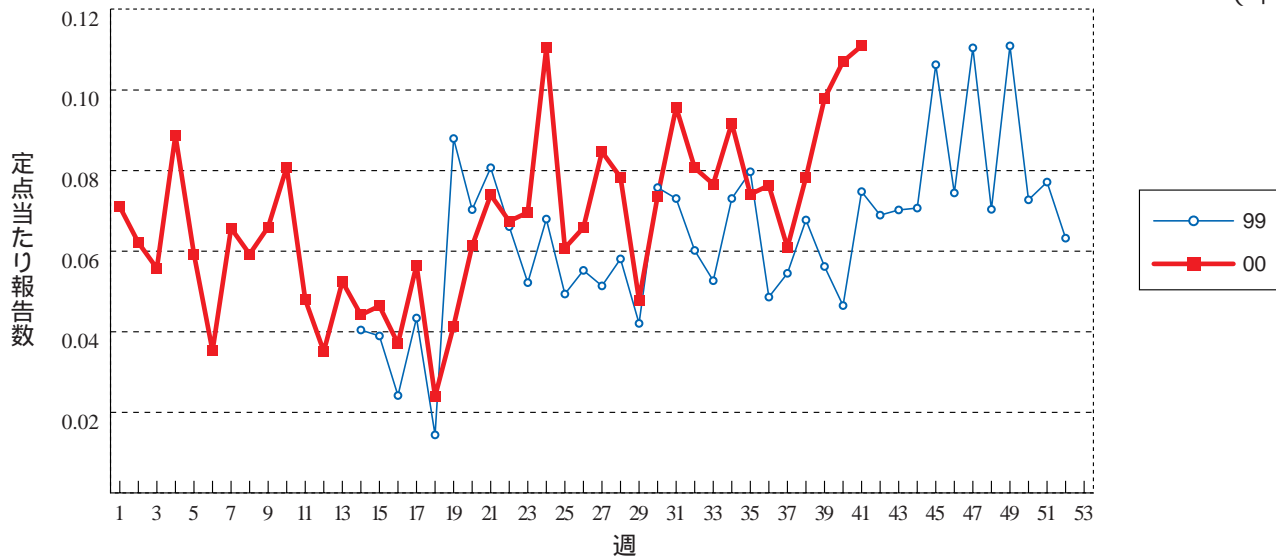
無菌性髄膜炎

(年)



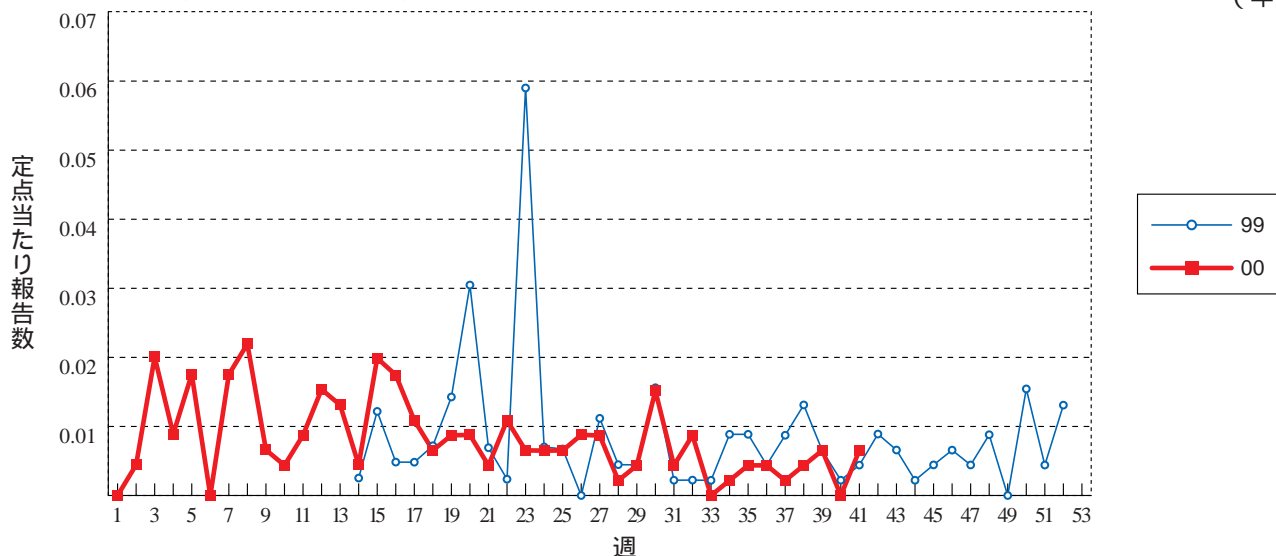
マイコプラズマ肺炎

(年)



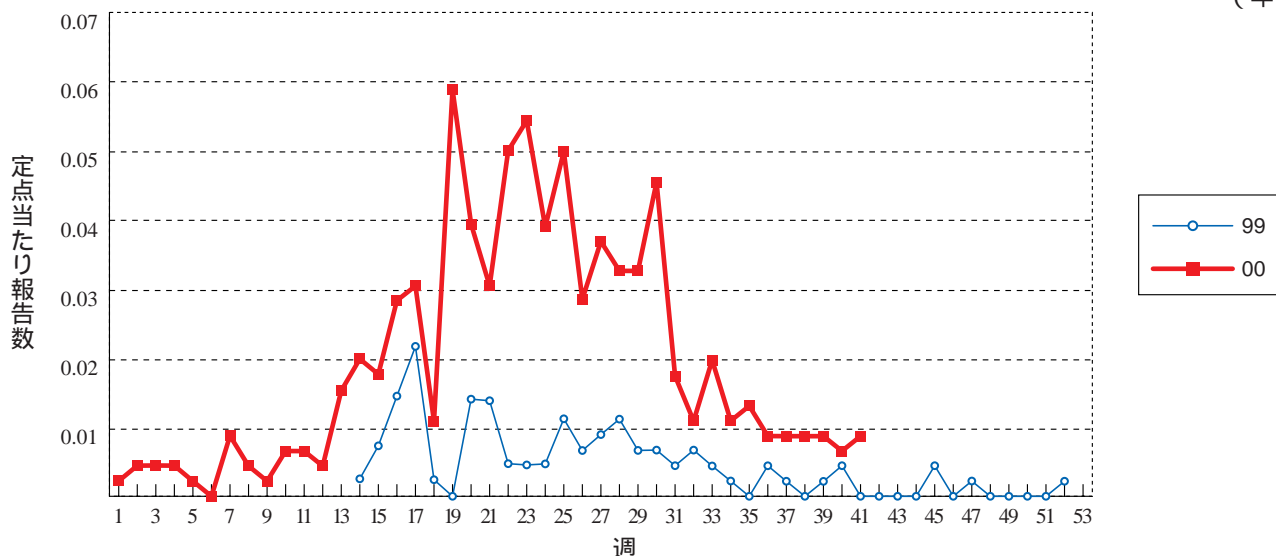
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





41週 of データ

注)表中の報告数は10月19日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年41週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46	10	613	-	74	1	17	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	18	-	3	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	6	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	2	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	19	-	3	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	24	-	4	1	4	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4	123	-	13	-	7	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	50	-	4	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	1	-	1	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	11	-	4	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	40	-	5	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	1	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	20	-	2	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	54	-	7	-	4	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	23	-	7	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	14	-	3	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	1	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	8	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	29	-	1	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	4	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	17	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年41週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	1	-	1	62	2980	2	292	-	18	-	-	-	14	-	-	8	796
北海道	-	-	-	-	1	88	-	5	-	17	-	-	-	-	-	-	-	12
青森県	-	-	-	-	1	38	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
岩手県	-	-	-	-	-	102	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮城県	-	-	-	-	-	52	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	1	16
秋田県	-	-	-	-	4	53	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
山形県	-	-	-	-	-	41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福島県	-	-	-	-	-	18	-	3	-	1	-	-	-	1	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	-	29	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
栃木県	-	-	-	1	-	14	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
群馬県	-	-	-	-	-	27	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
埼玉県	-	-	-	-	1	84	-	11	-	-	-	-	-	2	-	-	-	10
千葉県	-	-	-	-	2	89	-	12	-	-	-	-	-	2	-	-	-	12
東京都	-	-	-	-	2	251	-	73	-	-	-	-	-	3	-	-	-	87
神奈川県	-	-	-	-	2	150	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	1	35
新潟県	-	-	-	-	-	18	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	46	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
石川県	-	-	-	-	2	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
福井県	-	-	-	-	1	14	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
長野県	-	-	-	-	1	26	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	2	27	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
静岡県	-	-	-	-	-	31	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35
愛知県	-	-	-	-	5	197	1	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
三重県	-	-	-	-	1	41	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
滋賀県	-	-	-	-	-	26	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
京都府	-	-	-	-	1	43	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27
大阪府	-	-	-	-	2	301	-	47	-	-	-	-	-	1	-	-	-	88
兵庫県	-	-	-	-	4	156	1	29	-	-	-	-	-	-	-	-	2	88
奈良県	-	-	-	-	-	25	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
和歌山県	-	-	-	-	-	35	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
鳥取県	-	-	-	-	1	27	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	7	82	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	28
広島県	-	-	-	-	6	109	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
山口県	-	-	-	-	1	33	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
徳島県	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31
香川県	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
愛媛県	-	-	-	-	-	22	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
高知県	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
福岡県	-	-	-	-	8	285	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	39
佐賀県	-	-	-	-	-	42	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	1	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	1	29	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
大分県	-	-	-	-	1	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6
宮崎県	-	1	-	-	-	41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
鹿児島県	-	-	-	-	-	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14
沖縄県	-	-	-	-	4	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年41週

	Q熱		狂犬病		クリプトスפורジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	15	-	-	-	3	1	72	1	38	7	591	-	1	-	72	-	-
北海道	-	7	-	-	-	-	-	2	-	1	-	7	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	4	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	1	2	-	3	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	39	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	15	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	9	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	1	31	-	-	-	5	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	2	-	3	-	3	-	48	-	-	-	2	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	9	-	3	2	231	-	1	-	13	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	1	36	-	-	-	8	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	3	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	9	-	-	-	3	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	4	-	-	-	-	-	3	-	2	-	16	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	3	-	15	-	-	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	5	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	1	37	-	-	-	8	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	5	-	16	-	-	-	7	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年41週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	12	-	1	-	-	-	222	1	15	-	21	-	6	-	-	2	588
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
青森県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	47	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
山形県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	15
千葉県	-	2	-	-	-	-	-	10	-	-	-	6	-	-	-	-	-	20
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	-	89
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	1	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	24
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
大阪府	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	101
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	6	-	-	-	-	-	36
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	19
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	3
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	24	-	-	-	2	-	-	-	-	-	10
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年41週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	75	-	28	-	-	-	-	-	-	-	-	2	126	-	9	-	125
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	9	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27
栃木県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	4
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4
千葉県	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	3
東京都	-	6	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	2	53	-	-	-	7
神奈川県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	28
愛知県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	5
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	3
兵庫県	-	5	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年41週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	93	0.02	270	0.09	1771	0.59	5300	1.77	2006	0.67	3491	1.17	379	0.13	2345	0.78	62	0.02
北海道	-	-	4	0.03	112	0.77	153	1.06	144	0.99	168	1.16	22	0.15	78	0.54	3	0.02
青森県	1	0.02	-	-	25	0.61	14	0.34	67	1.63	92	2.24	5	0.12	8	0.20	1	0.02
岩手県	-	-	-	-	24	0.63	34	0.89	26	0.68	28	0.74	20	0.53	24	0.63	-	-
宮城県	-	-	5	0.08	61	1.03	122	2.07	47	0.80	158	2.68	10	0.17	66	1.12	4	0.07
秋田県	-	-	1	0.03	20	0.57	48	1.37	18	0.51	45	1.29	5	0.14	14	0.40	-	-
山形県	-	-	1	0.03	22	0.76	34	1.17	35	1.21	40	1.38	12	0.41	18	0.62	1	0.03
福島県	-	-	1	0.02	27	0.57	88	1.87	33	0.70	87	1.85	5	0.11	27	0.57	4	0.09
茨城県	1	0.01	2	0.03	31	0.43	117	1.63	58	0.81	84	1.17	8	0.11	33	0.46	1	0.01
栃木県	-	-	7	0.16	39	0.87	54	1.20	12	0.27	88	1.96	-	-	39	0.87	-	-
群馬県	-	-	-	-	47	0.76	67	1.08	53	0.85	16	0.26	5	0.08	40	0.65	2	0.03
埼玉県	13	0.05	7	0.04	142	0.89	351	2.21	85	0.53	167	1.05	26	0.16	134	0.84	1	0.01
千葉県	4	0.02	5	0.04	87	0.68	150	1.17	59	0.46	272	2.13	27	0.21	93	0.73	5	0.04
東京都	2	0.01	4	0.03	39	0.27	250	1.76	39	0.27	160	1.13	18	0.13	62	0.44	5	0.04
神奈川県	25	0.08	8	0.04	85	0.41	305	1.49	116	0.57	114	0.56	13	0.06	205	1.00	-	-
新潟県	-	-	11	0.18	72	1.20	136	2.27	70	1.17	71	1.18	9	0.15	49	0.82	3	0.05
富山県	1	0.02	-	-	26	0.90	43	1.48	15	0.52	49	1.69	-	-	25	0.86	-	-
石川県	-	-	-	-	17	0.59	84	2.90	18	0.62	72	2.48	8	0.28	18	0.62	2	0.07
福井県	-	-	5	0.24	12	0.57	77	3.67	28	1.33	54	2.57	-	-	18	0.86	-	-
山梨県	12	0.29	-	-	9	0.36	26	1.04	7	0.28	52	2.08	5	0.20	14	0.56	-	-
長野県	-	-	16	0.31	42	0.81	104	2.00	33	0.63	130	2.50	2	0.04	33	0.63	1	0.02
岐阜県	1	0.01	-	-	31	0.58	69	1.30	40	0.75	122	2.30	8	0.15	46	0.87	1	0.02
静岡県	2	0.01	12	0.14	32	0.37	169	1.97	32	0.37	208	2.42	10	0.12	85	0.99	1	0.01
愛知県	9	0.05	3	0.02	90	0.49	267	1.47	94	0.52	288	1.58	27	0.15	146	0.80	1	0.01
三重県	-	-	1	0.02	17	0.38	124	2.76	36	0.80	46	1.02	5	0.11	49	1.09	-	-
滋賀県	-	-	3	0.10	27	0.90	38	1.27	16	0.53	25	0.83	-	-	31	1.03	-	-
京都府	4	0.03	3	0.04	38	0.50	178	2.34	52	0.68	54	0.71	2	0.03	45	0.59	2	0.03
大阪府	1	0.00	29	0.15	80	0.42	314	1.64	90	0.47	54	0.28	9	0.05	138	0.72	4	0.02
兵庫県	1	0.01	9	0.07	51	0.38	298	2.24	113	0.85	110	0.83	11	0.08	121	0.91	2	0.02
奈良県	-	-	3	0.09	11	0.31	86	2.46	32	0.91	26	0.74	2	0.06	27	0.77	-	-
和歌山県	-	-	1	0.03	4	0.13	33	1.06	37	1.19	18	0.58	2	0.06	31	1.00	-	-
鳥取県	-	-	4	0.21	106	5.58	71	3.74	12	0.63	41	2.16	4	0.21	22	1.16	-	-
島根県	-	-	-	-	5	0.22	31	1.35	8	0.35	74	3.22	2	0.09	11	0.48	2	0.09
岡山県	-	-	17	0.31	20	0.37	110	2.04	27	0.50	32	0.59	3	0.06	32	0.59	3	0.06
広島県	-	-	10	0.13	26	0.35	143	1.91	26	0.35	53	0.71	4	0.05	62	0.83	3	0.04
山口県	-	-	4	0.08	39	0.80	113	2.31	36	0.73	64	1.31	4	0.08	62	1.27	-	-
徳島県	-	-	23	1.00	7	0.30	40	1.74	33	1.43	25	1.09	3	0.13	36	1.57	1	0.04
香川県	-	-	2	0.06	9	0.28	25	0.78	24	0.75	42	1.31	8	0.25	18	0.56	3	0.09
愛媛県	-	-	11	0.28	26	0.67	137	3.51	31	0.79	41	1.05	4	0.10	30	0.77	1	0.03
高知県	-	-	3	0.10	19	0.61	17	0.55	7	0.23	24	0.77	1	0.03	19	0.61	1	0.03
福岡県	-	-	14	0.18	51	0.65	247	3.13	66	0.84	33	0.42	24	0.30	73	0.92	-	-
佐賀県	1	0.03	-	-	10	0.43	17	0.74	14	0.61	22	0.96	7	0.30	46	2.00	1	0.04
長崎県	-	-	1	0.02	11	0.25	49	1.11	17	0.39	8	0.18	1	0.02	25	0.57	1	0.02
熊本県	-	-	7	0.14	16	0.33	78	1.59	50	1.02	22	0.45	12	0.24	53	1.08	-	-
大分県	1	0.02	13	0.36	33	0.92	89	2.47	57	1.58	20	0.56	8	0.22	43	1.19	1	0.03
宮崎県	-	-	14	0.38	36	0.97	118	3.19	29	0.78	56	1.51	15	0.41	34	0.92	1	0.03
鹿児島県	11	0.11	6	0.10	20	0.33	171	2.85	41	0.68	7	0.12	2	0.03	48	0.80	-	-
沖縄県	3	0.05	-	-	17	0.50	11	0.32	23	0.68	29	0.85	1	0.03	14	0.41	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年41週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	36	0.01	1119	0.37	159	0.05	2483	0.83	18	0.03	836	1.34	3	0.01	3	0.01	38	0.08
北海道	2	0.01	71	0.49	2	0.01	165	1.14	-	-	31	1.07	-	-	-	-	2	0.09
青森県	-	-	20	0.49	1	0.02	46	1.12	-	-	7	0.64	-	-	-	-	-	-
岩手県	3	0.08	10	0.26	-	-	15	0.39	-	-	14	1.17	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	22	0.37	2	0.03	4	0.07	1	0.09	8	0.73	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	13	0.37	-	-	6	0.17	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	24	0.83	-	-	7	0.24	1	0.13	13	1.63	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	28	0.60	-	-	15	0.32	-	-	18	1.50	-	-	-	-	-	-
茨城県	2	0.03	7	0.10	4	0.06	42	0.58	-	-	77	4.81	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	3	0.07	2	0.04	10	0.22	-	-	11	0.92	-	-	1	0.17	-	-
群馬県	-	-	9	0.15	-	-	84	1.35	1	0.07	23	1.64	-	-	-	-	-	-
埼玉県	2	0.01	35	0.22	3	0.02	269	1.69	-	-	35	1.00	-	-	-	-	-	-
千葉県	6	0.05	8	0.06	1	0.01	117	0.91	2	0.06	62	1.88	-	-	-	-	3	0.23
東京都	3	0.02	28	0.20	3	0.02	91	0.64	-	-	22	1.57	-	-	-	-	5	0.20
神奈川県	3	0.01	34	0.17	2	0.01	194	0.95	-	-	45	1.10	-	-	-	-	3	0.27
新潟県	2	0.03	7	0.12	2	0.03	79	1.32	-	-	13	1.44	-	-	-	-	1	0.08
富山県	-	-	40	1.38	-	-	5	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	2	0.07	12	0.41	1	0.03	8	0.28	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	13	0.62	1	0.05	43	2.05	-	-	4	1.33	-	-	-	-	-	-
山梨県	1	0.04	2	0.08	-	-	7	0.28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	31	0.60	1	0.02	15	0.29	1	0.10	12	1.20	-	-	-	-	1	0.09
岐阜県	-	-	4	0.08	2	0.04	55	1.04	-	-	20	1.67	-	-	-	-	-	-
静岡県	2	0.02	39	0.45	-	-	140	1.63	1	0.05	12	0.57	-	-	-	-	1	0.11
愛知県	1	0.01	46	0.25	3	0.02	108	0.59	-	-	30	0.86	-	-	-	-	1	0.08
三重県	-	-	33	0.73	1	0.02	49	1.09	-	-	3	0.25	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	3	0.10	6	0.20	7	0.23	1	0.14	9	1.29	1	0.17	-	-	1	0.17
京都府	-	-	12	0.16	3	0.04	40	0.53	1	0.06	32	1.78	-	-	-	-	-	-
大阪府	2	0.01	83	0.43	21	0.11	128	0.67	3	0.06	27	0.52	-	-	-	-	-	-
兵庫県	1	0.01	32	0.24	4	0.03	91	0.68	1	0.03	48	1.37	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	4	0.11	15	0.43	23	0.66	-	-	15	1.67	-	-	-	-	2	0.33
和歌山県	-	-	20	0.65	-	-	12	0.39	-	-	5	1.25	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	2	0.11	-	-	15	0.79	-	-	-	-	-	-	-	-	11	2.20
島根県	-	-	5	0.22	-	-	27	1.17	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	16	0.30	5	0.09	20	0.37	-	-	13	1.08	-	-	-	-	-	-
広島県	2	0.03	10	0.13	5	0.07	49	0.65	-	-	16	0.80	-	-	-	-	1	0.05
山口県	1	0.02	26	0.53	1	0.02	66	1.35	1	0.11	14	1.56	1	0.13	-	-	-	-
徳島県	-	-	10	0.43	-	-	6	0.26	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	16	0.50	1	0.03	24	0.75	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	89	2.28	-	-	24	0.62	-	-	21	3.00	-	-	-	-	-	-
高知県	1	0.03	31	1.00	35	1.13	29	0.94	-	-	1	0.33	1	0.14	-	-	1	0.14
福岡県	-	-	14	0.18	7	0.09	99	1.25	1	0.06	74	4.11	-	-	1	0.07	-	-
佐賀県	-	-	7	0.30	1	0.04	31	1.35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	20	0.45	-	-	18	0.41	2	0.25	33	4.13	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	19	0.39	-	-	122	2.49	-	-	22	2.44	-	-	1	0.07	2	0.13
大分県	-	-	51	1.42	6	0.17	27	0.75	-	-	5	1.00	-	-	-	-	1	0.10
宮崎県	-	-	96	2.59	5	0.14	16	0.43	1	0.25	4	1.00	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	11	0.18	11	0.18	19	0.32	-	-	5	1.00	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	3	0.09	2	0.06	16	0.47	-	-	22	2.20	-	-	-	-	2	0.29

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成12年41週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	51	0.11	3	0.01	4	0.01
北海道	2	0.09	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	5	0.25	-	-	-	-
宮城県	2	0.17	-	-	-	-
秋田県	4	0.50	-	-	-	-
山形県	1	0.11	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.17	-	-	-	-
群馬県	3	0.30	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	4	0.31	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	1	0.04
神奈川県	1	0.09	-	-	-	-
新潟県	2	0.15	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	1	0.20	-	-	-	-
山梨県	1	0.10	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	1	0.11	-	-
愛知県	5	0.38	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	1	0.17	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-
兵庫県	1	0.07	-	-	-	-
奈良県	3	0.50	1	0.17	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.20	-	-	-	-
広島県	1	0.05	-	-	-	-
山口県	1	0.13	1	0.13	-	-
徳島県	-	-	-	-	1	0.17
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	10	1.67	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	1	0.14
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.07	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	1	0.10
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第2巻、第41号 平成12年10月27日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生省保健医療局結核感染症課
 厚生省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhw.go.jp/>
 <厚生省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。